1 施策No.	4-1-1					
2 地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	子どもを共に育むまち				
3 政策	子どもの自己形成・参加支援	子どもの自己形成・参加支援				
4 施策	子どもの社会参加・参画の促進					
5 評価担当部	子ども家庭部					
6 施策関連課	子ども若者課	放課後対策課				
7 評価者	子ども家庭部長 田中 真理子					

, 111m C	1 0.,	пр д ш т	~								
				段階に応じて、自分の		会や社会参加・参画の	の機会を確保します。				
8 施策の目標	安全・安心で	かつ子どもの目	自主性・主体性を	育む遊びと交流の場	を充実します。						
	子どもが文化芸術やスポーツに親しむ機会や活動を推進します。										
9 施策の現状と課題	・「子どもの権 ・また同調査・ 働により、多 ・中高生セン・ 図っているが ・子どもスキッ が課題である	・子どもの権利に関する条例に基づく子どもの権利委員会を設置し、現行施策の検証を行いながら、子どもの権利推進計画の策定を行っている。 ・「子どもの権利に関する条例」の認知度(平成30年11月調査)が5年前と比べ下がっており、非常に低い状況である。 ・また同調査では、子どもが安心して遊べる遊び場整備の要望が高くなっているが、敷地の限られた本区においては、地域住民やNPO等との協働により、多様な「遊び場」や「遊び方」を生み出し、都心区ならではの遊びを通した体験・活動・交流の充実が求められている。 ・中高生センターは、H30年度から2施設で日曜開館を実施し、若者支援やNPO等の事業者との協働による事業展開などにより、事業の充実を図っているが、利用者は減っている。 ・子どもスキップは、子ども会議での決定事項が増えてきており、児童の意見をよく反映している。会議の開催回数が施設によって偏りがあることが課題である。また、夏の酷暑により一般利用人数が減っているが、学童クラブの利用人数は増加しているため、児童を収容する場所と人員の確保が課題である。									
10 施策の実現に影響を 及ぼす環境の変化 (法改正、社会状況等)				権利に関する条約」の と、子どもの権利保			こおいても、子どもの	権利条例に基づく			
11 今年度の 施策の取組方針	・プレーパーク の開催に加え ・子どもの権利 ・子どもスキッ	7事業は、常設 -、公民連携等 引推進計画は、	プレーパークのス の手法も活用し、 、子どもプラン及び を順次進める中	め、利用者増を図ると くタッフを2名体制とし 多様な事業者との連 ・子ども・若書計画とで で、今後は放課後対	、開催日数を増やし 携により区内各所で 統合し、子ども・若者	週7日実施する。出3 5開催する。 に関する総合計画と	長プレーパークは、公 :して、今年度末まで	園や保育園などで こ策定する。			
		費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
12 投入コストの推移		業費合計(-		564,573	932,279	929,039	0	0			
		一般財源分		551,804	641,459	623,443	0	0			
	指標(1)	基本	計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
	①中高生センタージャンプ利用者のうち、地域活	目標値	431	442	453	464	475				
		実績値	888	819 185.3%	639						
	動参加人数【人】		達成率 	206.0% S:目標超過達成	S:目標超過達成	141.1% S:目標超過達成	_				
	指標重要度 の割合(%)	20		地域を巻き込んで行う			が主体的に参加したこ が主体的に参加したこ	とを示す指標のため			
	指標(2)	基本	 計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			目標値	460	490	520	550	580			
		ンタージャン	実績値	552	672	629					
	プの利用者会 人数【人】		達成率	120.0%	137.1%	121.0%	_	_			
			達成状況	A:達成	S:目標超過達成	A:達成					
	指標重要度 の割合(%)	20	指標設定理由	利用者や利用団体との 述べ、取組内容に反明			り、施設運営について-	子どもたちが意見を			
	指標(3)	補」	助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			目標値	27,000	36,000	30,000	30,000	30,000			
13 施策の達成度を測る	③プレーパー		実績値	34,470	30,381	27,156					
指標の推移	利用者数(常	一段八人】	達成率	127.7%		90.5%	_				
	指標重要度 の割合(%)	20	達成状況 指標設定理由	A:達成 プレーパーク事業は、	B:相当程度達成 子どもの自主性・主体・	B:相当程度達成 性を育む遊びと交流の	ばである				
	指標(4)	補目	L 助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	一 令和2年度			
	10.14.(4)	11111	目標値	一成20年及 50	一块23年及	一成30年度	65	65			
	④子どもスキ	Fップの子ど	実績値	51	63	83	33	33			
	も会議決定		達成率	102.0%	105.0%	127.7%	_	_			
			達成状況	A:達成	A:達成	A:達成					
	指標重要度 の割合(%)	20	指標設定理由	児童にとって、自主性	・主体性を育む遊びを	提供するため					
	指標(5)			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
			目標値	535,000	535,000	545,000	540,000	540,000			
	⑤子どもスキ	Fップ利用人	実績値	536,124	541,511	535,760					
	数【人】		達成率	100.2%	101.2%	98.3%	_				
		<u> </u>	達成状況	A:達成	A:達成	B:相当程度達成					
	指標重要度 の割合(%)	20	指標設定理由	児童にとって、安心安	全な放課後の居場所提	是供に繋がるため					

	平成30年度 達成状況 115.7%	【達成状況分析】				
		・中高生センターの地域活動や利用者会議は目標を上回っており、中高生が主体的活動を行う機会となっ				
		ている。 ・常設プレーパークの利用者数は減少したが、出張プレーパークは回数及び利用者数とも増加しており、 公民連携による開催も増えている。				
14 施策達成状況	A∶達成	・児童の意見を多く反映させようとしているスキップが増えているが、夏の酷暑により一般利用人数が減ったことで全体の利用人数が減少した。 以上のことから、目標を達成しているが、今後の子どもの数の増加への対応や、9で述べた課題を解決す				
		るためには、事業内容の一層の工夫が必要だと考える。				
		【指標重要度の割合の設定理由】				
		子どもの年齢層に応じて、13の①と②は対象が中高生で40%、④⑤は小学生で40%、③は対象が限定されていないが、地域が限定されているため、20%とした。				
		 舌動参加者は活動機会の拡充により増加しているが、施設自体の延べ利用者数は減少している。地域活				
 15 施策を構成する		には、中高生センター事業を充実させ、利用者である中高生を増やすことが必要である。 数の団体との連携を図り、多様な開催場所や開催地域の偏りを解消すると共に、より多くの様々な遊び・学				
事務事業評価を踏まえた分析	びの機会提供が必要である。子ども会議の開催数は	5る。 ほぼ変わらないが、会議内の児童の意見が増え、子どもスキップの運営に反映させる決定事項も増えてい				
C #1 047 E 7 E 7 5 1/1	る。					
	・夏の酷暑により一般利用	用人数が減少したが、共働き家庭の増加により学童クラブ利用の需要が増えている。				
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	・利用者数が多い子どもだ ★、他の事業を★★とした	スキップ事業の貢献度を★★★とし、利用者数が少なく、目標達成度が低い子ども地域活動支援事業を こ。				
	・子ども・若者の参加・参	画の促進や子どもの遊びを充実させるために様々な事業を実施し、参加者数は増加傾向にあるが、施設				
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、	利用者に限定されていたり、地域が限られているなど、取り組みが不十分であり、さらなる事業の拡充が必要と考える。					
成果向上策について)	も会議を開催できるよう、施設に働きかける。また、児童が増えることによって需要増が見込まれているた 保が必要である。					
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	・子どもの参加・参画の機	後会を提供するための事業及び子どもの権利条例の認知度を高めるための新規・拡充事業を実施する。				

19 施策を構	成する計画事	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
事業整理番号		事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			事業費合計(千円)	1,181	1,176	1,085		
	子どもの参画技	推進事業	うち一般財源分(千円)	1,181	1,176	1,085		
0901-01			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善∙継続		
		•	事業費合計(千円)			1,490		
	子どもの権利技	推進事業	うち一般財源分(千円)			1,490		
0901-02			現状評価					
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			**		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
			事業費合計(千円)	200	200	100		
	子ども地域活動	协支援事業	うち一般財源分(千円)	200	200	100		
0901-03			現状評価	B:普通	B:普通			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	*	*	*		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持			
	中高生センタ-	一管理運営事業	事業費合計(千円)	25,370	30,040	35,707		
			うち一般財源分(千円)	23,702	27,979	32,287		
0901-04			現状評価	B:普通	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A':改善•継続		
			事業費合計(千円)	6,884	8,205	8,135		
	プレーパーク事	業	うち一般財源分(千円)	4,455	4,946	4,876		
0901-05			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**		
	事業特性2	国•都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充			
			事業費合計(千円)	526,569	889,802	861,201		
	子どもスキップ	運営事業	うち一般財源分(千円)	518,741	604,302	561,784		
1303-01			現状評価	B:普通	A:良好			
	3 214 1 3 12 1	任意的事業	施策貢献度	***	***	***		
	事業特性2	国・都補助 + 区上乗せ	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	S:拡充		
20 施策を構	成する一般事	業						
事業整理番号		事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			事業費合計(千円)	4,369	2,856	21,321		
	子どもプラン関	係事業	うち一般財源分(千円)	3,525	2,856	21,821		
0911-15			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持		一般事業(評価対象外)		

1 施策No.	4-1-2						
2 地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	子どもを共に育むまち					
3 政策	子どもの自己形成・参加支援	子どもの自己形成・参加支援					
4 施策	困難を有する子どもやその家族への	困難を有する子どもやその家族への支援【重点】					
5 評価担当部	子ども家庭部						
6 施策関連課	子育て支援課	子ども若者課	学務課				
7 評価者	子ども家庭部長						

	悩みを抱える子	子どもや子育て	こ不安を感じている	保護者が気軽に相談で	できる体制を強化し、そ	れぞれの困難な状況	に応じたきめ細やかな	支援を実施します。
8 施策の目標	虐待から子ど	もを守るため、	関係機関とのネッ	ットワークを充実させ	、発生予防·早期発	見・重篤化防止の対	策を推進していきま	す。
9 施策の現状と課題	行・犯罪など 待に関する材 的不安に対	近年、子どもを取り巻く環境は、厳しい社会経済情勢などの影響から大きく変化している。虐待、発達障害、貧困、ひきこもり、非行・犯罪など、子どもをめぐる問題がますます深刻化する中、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子どもが顕在化し、児童虐待に関する相談対応件数や子どもの発達相談件数は年々増加する傾向にある。また、教育・保育に関わる保護者の精神的、経済的不安に対応するため、各種補助・援助制度を含む子育て支援策を総合的に推進し、福祉、保健、医療、教育などの関係機関が連携する重層的な支援体制が求められている。						
10 施策の実現に影響を 及ぼす環境の変化 (法改正、社会状況等)	ている。これ 在化すること 種多様なライ	児童福祉法の改正により、児童相談所設置自治体が拡大され、本区は令和4年度を目途に当該相談所の設置に向け準備を進めている。これに伴い、各関係機関との更なる連携強化が求められる中、困難を有する子どもやその家族の状況はこれまで以上に顕在化することが予想されている。なお、貧困の世代間連鎖の防止や養育環境の改善・支援等に関わる従前からの課題も踏まえ、多種多様なライフスタイルに伴う子育て環境への適切な対応にあたっては、迅速かつ的確な支援体制の確保に向けて、各種相談員の増員と専門的な質の向上が不可欠となる。						
11 今年度の 施策の取組方針	援、貧困対策 多角的に取 また、年齢	教育や福祉、保健、医療等の関係機関との連携をより強固なものとし、相談体制の充実を図るとともに、児童虐待防止や発達支援、貧困対策など、困難を有する子どもや家庭への更なる支援に向けて、社会的養護の基盤構築等、拡充した各種事業を中心に 多角的に取り組んでいく。 また、年齢階層で支援が途切れることがないよう、18歳以上まで対象を広げ、子どもから若者まで総合的な相談事業やアウトリーチ支援を行う。						
		費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
12 投入コストの推移		業費合計(320,199	383,714	449,178	0	0
		一般財源分		177,230	227,872	301,263	0	0
	指標(1)	基本	計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	 児童人口に占め	占める児童	目標値	1.40%	1.30%	1.20%		
	虐待等の対応の割合 【%】		実績値	2.49%	2.33%	2.45%		
			達成率 	22.1% D: 大きく未達成	20.8% D: 大きく未達成	-4.2% D: 大きく未達成	_	
	指標重要度 の割合(%)	40	指標設定理由		が極めて重要であり、え		進むことで児童虐待等	の対応割合が減少し
	指標(2)	補	 助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			目標値	50.0%	50.0%	50.0%		
10 长供の法士中土ツス		談受理件数に伴う児 虐待等の改善率【%】	実績値	48.0%	49.6%	52.8%		
13 施策の達成度を測る 指標の推移			達成率	96.0%	99.2%	105.6%	_	_
10 100 10 10			達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	A:達成		
	指標重要度 の割合(%)	40	指標設定理由				ースに対して適切なア 応割合が減少していく	
	指標(3)		助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「いじめや虐		目標値	6.0%	7.0%	8.0%		
	ている。につ	削が整備され いて、肯定	天視胆	5.1%	6.1%	7.0%		
	的な回答を	する区民の	達成率	85.0%	87.1%	87.5%	_	_
	割合【%】	ı	達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成		<mark></mark> 憂先度は高い」という結	: 用したっている コバ
	指標重要度 の割合(%)	20	指標設定理由	本指標は区氏息諏詢 めや虐待から子どもを えられるため。				
	平成30年度 達成状況	58.1%	【達成状況分	析】				
14 施策達成状況		達成	児童虐待に関わる未然防止策として、要保護児童対策地域協議会を設置し、虐待防止ネットワーク会議を年間24回、普及啓発研修等を5回開催し、児童虐待の発生予防・早期発見・重篤化防止に向けて対策を講じている。全国と同様に本区においても、児童虐待数は増加傾向にあり、基本計画指標の目標値との乖離が否めない現状にあるが、虐待対応に係る関係者や地域等での見守り体制が構築される中で、潜在化するケースの早期発見につながるなど、取組としての一定の効果は確認されている。虐待等への適切な対応による改善率の更なる向上を目指すとともに、虐待を未然に防ぐ、対応策の強化と普及啓発活動を定着させ、区民一人ひとりの児童虐待防止等に向けた意識の醸成を図り、対応割合を減少させていく。					
			「児童人口に占 待の現状と対 調査項目「いじ	の割合の設定理 める児童虐待等の なを図る両輪の指札 めや虐待から子ど 連待防止に向けた原)対応の割合」と「札票として重要である もを守る体制が整	ため、40%で割振 備されている」につ	った。また、区民意 いて、肯定的な回	議調査における 答をする区民の

15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	困難を有する子どもやその家族が抱えている生活課題は多種多様であり、その対応にあたっては、迅速かつ的確に対処できる組織体制の構築が強く求められている。また、本施策を構成する各事務事業の大半が、対象となるケースの緊急性を想定し、職員一人ひとりが高い専門性をもって業務にあたる必要がある。また、子どもとその家族を守り、未来ある子どもに育てていく事業としての重要度は極めて高く、各々の専門性を活かした重層的な支援体制の確立が急務とされている。
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	現状評価が「良好」であり、今後の事業の方向性が「拡充」としていている事業について、区民ニーズと事業の有効性が高いものとして、施策貢献度が高いと評価した。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	虐待、発達障害、貧困、ひきこもり、非行・犯罪など、子どもをめぐる問題が深刻化を増すなか、困難を有する子どもとその家族への対応は継続的な重点課題として取り組む必要がある。そうした中で、33年度の児童相談所設置準備と相まって、要保護児童対策地域協議会等の各種ネットワーク機能を有機的に活用し、関係機関との連携を更に強固にすることで、子どもとその家族を取り巻く多種多様な課題の早期発見・早期解決に繋げていく。また、DV相談などの専門相談対応にあたっては、職員数の確保と専門性の修得に向けた研修体制の充実を図り、職員体制の基盤強化に取り組んでいく。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	①発達支援に関わる相談実績が急増する中、民間療育施設との役割分担を行い、個別専門療育のニーズに対応した児童発達支援事業の充実とこれに伴う専門職の増員配置により、子どもとその家庭が抱える多様な課題に的確に対応できる体制の強化が必要である。 ②令和4年度に予定される児童相談所設置に向け、正規職員の増員と専門性の確保を行い、児童虐待等の重篤な課題を早期に解決していくために、関係機関との更なる連携強化が必要である。併せて、社会的養護の基盤構築を推進し、虐待や養育不調で保護した子どもの安全と健やかな成長を保障する仕組みづくりが急務である。 ③ひとり親家庭等の子どもに対する学習支援事業は、学習のみならず家庭支援として極めて有効であり、切れ目のない支援の実現に向け、継続的に実施する必要がある。また、DV対応を含めた女性相談事業については、相談件数も年々増加傾向にあり、困難ケース的確に対応できる専門職の配置が必要である。 ④家庭の経済状況に関わらず、安心して通学できるよう、就学援助費目の支給額増や運用方法について、国や他自治体の動向を踏まえ、改善・充実を図っていく必要がある。

事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
. —			事業費合計(千円)	110.860	107.819	100,473	1 11112 1 122	1 11 11 11 11
	炉	童発達支援事業	うち一般財源分(千円)	66.056	60.234	60,000		
0902-01	,,,	エルベス	現状評価	A:良好	A:良好	00,000		
0002 01	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	<u>★★★</u>	***		
	事業特性2		今後の事業の方向性	S:拡充	S:拡充	S:拡充		
	テストに	ш нетпо-93	事業費合計(千円)	67.232	41,318	93,225		
	ス <i>ども</i> 、虚:	待防止ネットワーク事業	うち一般財源分(千円)	55.355	29.003	81.728		
0902-03	, _ 0,=	1100-1111111111111111111111111111111111	現状評価	A: 良好	A:良好	01,720		
0002 00	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	**	**		
		国·都補助	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	^^		
	尹 未讨江2		事業費合計(千円)	17,587	16,296	20,561		
	7.トリ 钼 に 🌣	対する貸付・就労支援事業	ラキー般財源分(千円)	12.414	13.645	14.304		
0902-07	いとう称に入	190页门 机刀叉波带木	現状評価	A:良好	A:良好	14,304		
0002-07	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	A: Ry	A: 及好 ★	*		
	事業特性2		加 東 貝 附 及 今後の事業の方向性	★★ A:現状維持	A:現状維持	*		
	サ木付にと		事業費合計(千円)	10.540	11,598	11,078		
	ひとり親家	R庭等の子どもに対する	争未負 ロ 副 (下口) うち一般財源分(千円)	4.028	5.401	4.690		
0902-08		学習支援事業	現状評価			4,090		
0302-00	古 类 杜 州 1	任意的事業		A:良好 ★★★	A:良好 ★★	**		
		国·都補助	施策貢献度			* *		
争未行门	事業特性2	国 旬 相助		A:現状維持	A:現状維持	0.505		
	B7_	体型ショートケア事業	事業費合計(千円)		2,818	2,565		
0902-09	母于一				2,003	1,605		
0902-09	事業特性1	任意的事業	現状評価施策貢献度		A: 良好	4.4		
	事業特性2	1	加 東 貝 附 及 今後の事業の方向性		★★	★★		
	争耒特性2	四 旬 相 切			A:現状維持	A:現状維持		
	マ じ+	宝克大林和沙市类	事業費合計(千円)		33,830	33,725		
0902-10	1 2t	家庭女性相談事業	うち一般財源分(千円)		23,912	22,780		
0902-10	== ***	/ 主払事業	現状評価		A:良好			
	3 214131= -	任意的事業	施策貢献度		★★ ^ TBJL54#++	**		
	事業特性2	国"郁補助	今後の事業の方向性		A:現状維持	50.044		
	児童相談所設	置準備事業(児童虐待対応	事業費合計(千円)		34,280	52,941		
0902-11		力強化事業)			31,725	45,157		
0902-11		バ辛奶声 衆	現状評価施策貢献度		A:良好	A A		
	事業特性1				**	**		
	事業特性2	国·都補助	今後の事業の方向性		S:拡充	S:拡充		
	児童相談所設	置準備事業(社会的養護基	事業費合計(千円)		8,821	10,046		
0902-12		盤構築事業)			8,821	9,973		
	+ ** + + + . ·	たきめ声 業	現状評価		A:良好			
	•	任意的事業	施策貢献度		**	**		
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性		S:拡充	S:拡充		
	児童相談所設	置準備事業(人材育成等関	事業費合計(千円)			17,869		
0000 10		系事業)【新規】	うち一般財源分(千円)			17,869		
0902-13		I== → 1.L → 111L	現状評価					
	事業特性1		施策貢献度			**		
	事業特性2	国•都補助	今後の事業の方向性					

								1
			事業費合計(千円)			19,902		
0901-06	子ども	·若者総合相談事業	うち一般財源分(千円)			12,254		
(子ども若者			現状評価					
課)	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			***		
	事業特性2	国·都補助	今後の事業の方向性					
			事業費合計(千円)	192,287	194,604	205,977		
	就学援	助生活困窮者補助金	うち一般財源分(千円)	192.287	193.800	205.583		
1302-01	370 1 122	9) <u>11</u> 1111139 1111199 1111	現状評価	B:普通	B:普通	200,000		
(学務課)	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		±±±	***		
	事業特性2	国・都補助	ルス 貝 附入 及 今後の事業の方向性	A:現状維持		★★ A:現状維持		
	尹未付に2		事業費合計(千円)	7.159	8.508	8.505		
1000 00	特別才	と 接学級就学奨励費	うち一般財源分(千円)	6.725	7.882	7.873		
1302-02 (学務課)			現状評価	B:普通	B:普通	.,,		
(子/労林/	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	***	**		
00 to the total		国·都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持		
20 施策を構	成 9 る一般事							l
事業整理番号		事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			事業費合計(千円)	9,474	9,515	9,604		
	親の子	育て力向上支援事業	うち一般財源分(千円)	8,834	8,665	9,043		
0902-02			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	*	*	*		
	事業特性2	国·都補助	今後の事業の方向性	,,				
		事業費合計(千円)	1,809	1,827	1,758			
	- 時保護宿泊費助成	うち一般財源分(千円)	1,713	1.558	1,489			
0902-04	7R/LX	"小林成旧石及约7%	現状評価	A:良好	A:良好	1,400		
0902-04		任意的事業		A: RM ★★	A: 及奸 ★★	**		
	事業特性1		施策貢献度		* *	**		
	事業特性2	国・都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持		24.422		
	71 ± m =		事業費合計(千円)	99,728	109,999	94,426		
	私立母子	生活支援施設運営助成	うち一般財源分(千円)	26,479	39,450	31,478		
0902-05			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	義務的事業	**	**		
	事業特性2	国·都補助	今後の事業の方向性					
			事業費合計(千円)	2,969	2,969	2,829		
	母子等緊	聚急一時保護事業委託	うち一般財源分(千円)	2,351	2,266	2,109		
0902-06			現状評価	A:良好	A:良好			
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	*		
	事業特性2	国·都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持				
			事業費合計(千円)	20111277		643		
0901-07	青小名	F自殺予防対策事業	うち一般財源分(千円)			643		
(子ども若者		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	現状評価			040		
課)	古 类 杜 州 1	任意的事業	施策貢献度			**		
HAT.7	事業特性1	国・都補助				* *		
	事業特性2	国 卸	今後の事業の方向性		F 4 10			
			事業費合計(千円)		5,442			
0901-12	子ども	の未来応援関係経費	うち一般財源分(千円)		3,192			
(子ども若者			現状評価		B:普通			
課)	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		*			
1	事業特性2	国•都補助	今後の事業の方向性		D:終了			

1 施策No.	4-1-3				
2 地域づくりの方向	子どもを共に育むまち				
3 政策	子どもの自己形成・参加支援	子どもの自己形成・参加支援			
4 施策	子どもの成長を地域で支えるための環境整備				
5 評価担当部	子ども家庭部				
6 施策関連課	子ども若者課	放課後対策課			
7 評価者	子ども家庭部長 田中 真理子				

		を地域全体で	支えていくために	、地域の団体やNPC	D法人などと協働を進	進めるとともに地域人	材の育成やネットワー	ークづくりに取り組		
	みます。									
8 施策の目標	子どもを犯罪やトラブルなどから守るため、地域全体で子どもの安全·安心の見守り活動を促進していきます。 									
9 施策の現状と課題	関する施策や・青少年育成・安全・安心な不可欠であり・全小中学校の確保があけ・放課後子ど・	・H30年度の計画策定のための調査によると、保護者の約半数が子育でをする上で地域の支援があればよいと感じている。また、子育で支援に関する施策や事業については「子どもが事故や犯罪に巻き込まれない環境整備」を望む声が最も多い。 ・青少年育成委員等の地域で活動する人材の減少・高齢化により、委員への負担が増加している。新たな人材の確保・育成が必要である。 ・安全・安心な環境を整備するには、地域の方々をはじめ、NPO法人、スクールソーシャルワーカー、コミュニティソーシャルワーカーなどの協力が不可欠であり、新たな支え合いのネットワーク化を図る必要がある。 ・全小中学校で学校開放を行っている。課題としては、学校開放協力員が不足しており、全小中学校の全家庭に募集チラシを配布するなど、人員の確保があげられる。 ・放課後子ども教室は全小学校で実施中である。課題としては、地域力や事業周知の強化、小学校・スキップ・地域スタッフの全体の調整、地域等スタッフの確保があげられる。								
10 施策の実現に影響を 及ぼす環境の変化 (法改正、社会状況等)						はやNPOなどの活動 関で連携して行うため	が活発化している。)の豊島区子ども若れ	首支援協議会を設		
11 今年度の 施策の取組方針	・子どもに関わ ・としま子ども ・子どもスキッ	oるネットワー? 食堂ネットワー	ク同士、また地域 -クの加入団体の を順次進める中で	資質向上や情報提供	体等を繋げるため、 共などにより地域にお	らける活動の支援を行	-クイベント『ここにい テラ。 プ事業、放課後子供			
		費目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
12 投入コストの推移		業費合計(-		195,975	226,372	206,109	0	0		
		一般財源分		201,982	203,330	181,408	0	0		
	指標(1)	基本i	計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	 ①子ども支援サポーター 人数【人】	≖ ⊥ +₽	目標値 実績値	10 7	15 13	11 11				
			70.0%	86.7%	100.0%	_				
			達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	A:達成				
	指標重要度 の割合(%)	5	指標設定理由	汗動な茶切する老が名		1 - 11	し域でのサポート体制の)整備状況を表す指		
	指標(2)	基本	計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	②マキナ し	计明数字位	目標値	300	300	200				
	②子育て人 ² 事業(子ども		実績値	203	131	185				
	者数(延べ人		達成率	67.7%	43.7%	92.5%				
			達成状況	C:未達成	C:未達成	B:相当程度達成				
	指標重要度 の割合(%)	5	指標設定理由	地域で子育てをサポー	-トする人材の育成をえ	示す指標であるため				
	指標(3)	補」	助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			目標値	53,000	55,000	55,000	55,000	55,000		
13 施策の達成度を測る	③地区育成		実績値	55,192	53,675	54,938				
13 施東の達成度を測る 指標の推移	1 4 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7									
	業参加者数		達成率	104.1%	97.6%	99.9%				
74 174 12 12			達成状況	A:達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	_	_		
	未参加有数 指標重要度 の割合(%)	30	達成状況 指標設定理由	A:達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	子どもが参加できる事業	 美を実施している		
	指標重要度	30	達成状況 指標設定理由 助指標	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度	B:相当程度達成 守りや支援を行うネッ 平成29年度	B:相当程度達成	子どもが参加できる事業	を実施している 令和2年度		
	指標重要度 の割合(%) 指標(4)	30 補	達成状況 指標設定理由 助指標 目標値	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000	B:相当程度達成 守りや支援を行うネッ 平成29年度 75,000	B:相当程度達成 トワークであり、様々な・ 平成30年度 75,000				
	指標重要度 の割合(%) 指標(4) 小学校校庭	30 補	達成状況 指標設定理由 助指標 目標値 実績値	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626	B:相当程度達成 守りや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324	令和元年度	令和2年度		
,	指標重要度 の割合(%) 指標(4)	30 補	達成状況 指標設定理由 助指標 目標値 実績値 達成率	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4%	B:相当程度達成 守りや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0%	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324 84.4%	令和元年度	令和2年度		
	指標重要度の割合(%) 指標(4) 小学校校庭数【人】	30 補	達成状況 指標設定理由 动指標 目標値 実績値 達成率 達成状況	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626	B:相当程度達成 中リや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成	令和元年度	令和2年度		
	指標重要度の割合(%) 指標(4) 小学校校庭数【人】 指標重要度の割合(%)	30 補 開放利用人 30	達成状況 指標設定理由 助指標 目標値 実績値 達成率 達成状況 指標設定理由	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4% B:相当程度達成 児童の身近で安全な過	B:相当程度達成 中が支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成 遊び場の提供につなが	B:相当程度達成 トワークであり、様々な・ 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成 るため。	令和元年度 75,000 —	令和2年度 75,000 —		
	指標重要度の割合(%) 指標(4) 小学校校庭数【人】	30 補 開放利用人 30	達成状況 指標設定理由 动指標 目標値 実績値 達成状況 指標設定理由 动指標	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4% B:相当程度達成 児童の身近で安全な過 平成28年度	B:相当程度達成 中リや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成 遊び場の提供につなが 平成29年度	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成 るため。	令和元年度 75,000 —— 令和元年度	令和2年度 75,000 — — 令和2年度		
	指標重要度 の割合(%) 指標(4) 小学校校庭 数【人】 指標重要度 の割合(%) 指標(5)	30 補 開放利用人 30 補	達成状況 指標設定理由 动指標 目標値 実績値 達成状況 指標設定理由 动指標 自標値 連成状況 指標設定理由 动指標 目標値	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4% B:相当程度達成 児童の身近で安全な過	B:相当程度達成 中が支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成 遊び場の提供につなが	B:相当程度達成 トワークであり、様々な・ 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成 るため。	令和元年度 75,000 —	令和2年度 75,000 —		
	指標重要度の割合(%) 指標(4) 小学校校庭数【人】 指標重要度の割合(%)	30 補	達成状況 指標設定理由 动指標 目標値 実績値 達成状況 指標設定理由 动指標	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4% B:相当程度達成 児童の身近で安全な過 平成28年度 28,000	B:相当程度達成 中リや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成 遊び場の提供につなが 平成29年度 36,000	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成 るため。 平成30年度 34,800	令和元年度 75,000 —— 令和元年度	令和2年度 75,000 — — 令和2年度		
	指標重要度の割合(%) 指標(4) 小学校校庭数【人】 指標重要度の割合(%) 指標(5)	30 補	達成状況 指標設定理由 动指標 目標値 実績成状況 指標設定理由 対指標 連成状況 指標設定理由 対指標 目標値 実績値	A:達成 地域ごとの子どもの見 平成28年度 88,000 86,626 98.4% B:相当程度達成 児童の身近で安全な過 平成28年度 28,000 35,788	B:相当程度達成 中りや支援を行うネッ 平成29年度 75,000 73,515 98.0% B:相当程度達成 遊び場の提供につなが 平成29年度 36,000 34,607	B:相当程度達成 トワークであり、様々な 平成30年度 75,000 63,324 84.4% B:相当程度達成 るため。 平成30年度 34,800 34,267	令和元年度 75,000 —— 令和元年度	令和2年度 75,000 — — 令和2年度		

	平成30年度 達成状況 94.5%	【達成状況分析】			
14 施策達成状況	B:相当程度達成	・子ども講座は、平成29年度から規模を縮小して実施し、目標を下方修正している。 ・地区育成委員会の活動参加者は子どもの数の増加に伴い、増加傾向にある。 ・学校開放は区民からの需要は高いが、学校の改修の影響と熱中症防止策による開放の中止により、未達になっている。 ・放課後子ども教室はプログラムの充実などを図っていたが、熱中症防止策によるプログラムの中止が増えてしまったため、未達になっている。			
		【指標重要度の割合の設定理由】 ・地域ネットワークの支援に重点を置くため、③④⑤の合計を90%として、子育て人材の育成①②を10%とした。			
15 施策を構成する 事務事業評価 を踏まえた分析	講者増に繋がったと考え・地区育成委員会の活動・区内に公園や体育館・近い。	ィアセンターとの連携や、NPOなどの地域活動団体に講座の活用を提案するなど、募集方法の工夫が、受る。 る。 参加者は子どもの数の増加に伴い、増加傾向にある。 重動場が少ない状況下で、安全・安心な居場所として、区立学校の施設開放を希望する児童や区民は多 株中症防止策によるプログラムの中止が増えてしまったため、参加人数が減少したと考えられる。			
16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	「低い」とした。 ・地域の子育て支援を希動している人やリピーター・青少年育成委員会は、事業に積極的にかかわっ・学校開放は、区内に公区民は多く、必要性は高・放課後子ども教室は、ま	園や体育館・運動場が少ない状況で、安全・安心な居場所として、区立学校の施設開放を希望する児童や			
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	・関係機関が連携し、情報を共有することで、切れ目なく適切な支援を提供できる体制を整備することができる。引き続き、様々ネットワークの連絡会開催や、子どもに関する情報共有、情報提供、研修会の開催などを行い、地域での活動を支援していく。 ・児童が増えることによって需要増が見込まれるため、環境整備が必要である。 ・熱中症防止策による学校開放や放課後子ども教室の中止が増えてしまったため、打開策を講じる必要がある。				
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	・学校との連携について	よ、児童の情報共有を迅速かつ円滑に行い、関係をさらに深めていく。			

19 施策を構成する計画事業											
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
0901-08	青少年育成委員会事業		事業費合計(千円)	17,335	16,321	16,310					
			うち一般財源分(千円)	17,335	16,321	16,310					
			現状評価	B:普通	B:普通						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	***					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A':改善·継続					
0901-11	子育て人材開発支援事業		事業費合計(千円)	1,892	1,764	1,728					
			うち一般財源分(千円)	1,892	1,764	1,728					
			現状評価	C:不十分	B:普通						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	*	*	*					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	B:改善・見直し	A:現状維持						
0901-13	子ども食堂ネットワーク事業		事業費合計(千円)			162					
			うち一般財源分(千円)			162					
			現状評価								
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			*					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性								
1303-02	学校開放事業		事業費合計(千円)	126,161	150,662	137,630					
			うち一般財源分(千円)	132,703	135,930	123,067					
			現状評価	B:普通	B:普通						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	S:拡充	A:現状維持	A:現状維持					
1303-03	放課後子ども教室事業		事業費合計(千円)	30,985	39,723	31,300					
			うち一般財源分(千円)	30,450	31,413	22,722					
			現状評価	B:普通	A:良好						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	***	***	***					
	事業特性2	国•都補助	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持					

20 施策を構成する一般事業												
事業整理番号	事業名		項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
0901-09	地域団体青少年健全育成行事助成事業		事業費合計(千円)	4,106	4,080	4,366						
			うち一般財源分(千円)	4,106	4,080	4,366						
			現状評価	B:普通	A:良好							
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**						
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性			一般事業(評価対象外)						
0901-10	社会を明るくする運動事業		事業費合計(千円)	11,030	9,419	9,381						
			うち一般財源分(千円)	11,030	9,419	9,381						
			現状評価	B:普通	B:普通							
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**						
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持		一般事業(評価対象外)						
	保護司会関係事業		事業費合計(千円)	4,466	4,403	5,232						
0901-12			うち一般財源分(千円)	4,466	4,403	3,672						
			現状評価	A:良好	A:良好							
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	**	**	**						
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性		A:現状維持	一般事業(評価対象外)						